

# 動物サポーターの支援者様へ

わたしたちのエサを1年間支援してくれてありがとう



支えがあるから今日も元気です



**動物サポーターに1,730件 25,859,392円の支援が寄せられました。**

うち法人・団体サポーター139件18,480,302円。(平成15年4月1日～平成16年3月31日現在)

平成15年度の動物のエサ代等として19,043,355円使用し、残りの6,816,037円は、積み立てて平成16年度以降の動物のエサ代として役立てたいと考えています。

## 動物のエサ代 約1,720万円支出

約90種480頭の1年間のエサ代です。主なものは、



ゾウ2頭で1日で主に乾草40kg、青草8束、笹15kg、ペレット(固形飼料)16kg、ハイキューブ(干し草固形飼料)10kgで 年間約400万円。



チンパンジー6頭で1日で主にキャベツ3kg、サツマイモ4kg、ニンジン4kg、バナナ3.5kg、リンゴ2kg、オレンジ2kgで 年間約200万円。



ニホンザル40頭で1日で主にキャベツ5kg、サツマイモ4kg、ニンジン4kg、バナナ3kg、リンゴ3kg、オレンジ3kgで 年間約200万円。



ライオン3頭で1日で主に丸鶏6kg、牛レバー1kg、馬肉2kgで 年間約150万円。



トラ2頭で1日で主に丸鶏4kg、牛レバー1kg、馬肉1kgで 年間約100万円。



キリン1頭で1日で主に木の枝2kg、カトルーサン(干し草を切ったもの)3kg、圧ベントウモロコシ(フレーク状のトウモロコシ)5kg、ペレット(固形飼料)3kgで 年間約100万円。



ええ、ええ ほお~んにとっ  
いつもおいしくいただいておりやす  
骨まで大切にしゃぶっておりやす

その他、ゾウやレッサーパンダのために竹を定期的に提供いただいたり、米などの穀類や新鮮な野菜・果物を提供いただきました。米は、サルたちの冬の暖をとるためのおやつとしておにぎりにして与えています。また、飼育スタッフとボランティアによるエサとり(新鮮な野草や雑草を刈りエサとして使用)などで全体のエサ代を昨年並みに節約することができました。

このような動物サポーターによるみなさんの支援により経営に左右されない、動物たちに安定したエサの提供ができています。今年はさらに里山ゾーンの整備で新しい小動物、は虫類、両生類、昆虫たちが加わりますので、この新しい仲間たちへの支援を引き続きお願いします。

## 動物の薬代 約30万円支出

当園の動物たちの健康を守るための薬等を購入し、園内の動物の健康管理や治療、検査などで使用しました。



インフルエンザの影響で展示されていなかった僕らも復活!!

## 会員への情報郵送料、動物サポーター刻銘版、会員証等 約152万円支出

クラブネットに登録していない方に年2～3回園情報を郵送しています。サポーターズニュース発行費用と園情報、収支報告書をおくる費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきます。また、サポーターの法人・団体名を園内に掲示するための刻銘版作成や定期入れに入るよう会員証の縮小化、ファン感謝祭や会員更新時の記念品などを支出しました。

# 動物友の会の会員様へ 1年間 わたしたちの環境を支えて くれてありがとう



**動物友の会に3,772件 14,536,000円の支援が寄せられました。**

(平成15年4月1日～平成16年3月31日現在)

**平成15年度の動物を中心とした動物園事業に14,536,000円全額を使用させていただきました。動物たちへの優しい環境維持に役立っています。**

動物園の環境維持・改善

## 獣舎の光熱水費 約1,250万円支出

園でかかる光熱水費は約2,140万円です。

電気代830万円のうち約460万円が動物獣舎関係の経費です。動物の健康状態を維持するために照明はもちろん空調や床暖房、ヒーターや流水のためのポンプ類などで使用されています。動物を飼育するために必要な経費です。

水道代1,310万円のうち約790万円が動物獣舎関係の経費です。ゾウ、トラのプールやフラミンゴ、アヒル、バードケージの池、アライグマ、チンパンジー等サル類の流水の維持に使用しています。その他の多くは、獣舎清掃などに使用しています。獣舎清掃は、毎日かなり多くの水を使用しますが、当園では新幹線の湧水をポンプで汲み上げて使っており、通常の上水使用よりも節約されています。

## 獣舎の環境維持・改善約135万円支出



動物の健康検査や治療に使った医療機器の廃棄、ロバ・ポニーの爪切り、ボイラー管理、獣舎周りの修繕・改善、動物パドック周りの修繕・改善に使用しました。

夏は日陰などの対策、冬は暖をとるための対策、繁殖期には巣となる材料や小屋など、日々、動物たちに優しい環境・施設へと改善しております。この優しい環境の中で動物たちはのびのびと生活し、時には新しい命も芽生えています。



このように友の会の皆様の会費による支援が、経営に左右されない動物たちの飼育環境の維持・改善に役立っています。

## 野生動物の治療や飼育 約140万円支出

当園では野生動物が傷ついた時、その治療とリハビリを行い野生に返す取り組みを行っています。これは県から委託を受け(約70万円が県の補助)実施しているものですが、当園では持ち込まれる件数が多く年間約400件の傷ついた野生の鳥や動物たちが持ち込まれています。



これら傷病鳥獣の取り扱い業務(窓口対応、治療、治療薬、治療中のエサ、放野、放野できない動物の園内飼育)などで年間140万円以上の経費がかかります。傷病鳥獣で運び込まれた野鳥たちは一部こもればの径で展示されています。

## 会員への情報郵送料、動物サポーター刻銘版、会員証等 約60万円支出

クラブネットに登録していない方に年2～3回園情報を郵送しています。サポーターズニュース発行費用と園情報、収支報告書をおくる費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきました。その他、定期入れに入るよう会員証の縮小化、ファン感謝祭や会員更新時の記念品などを支出しました。